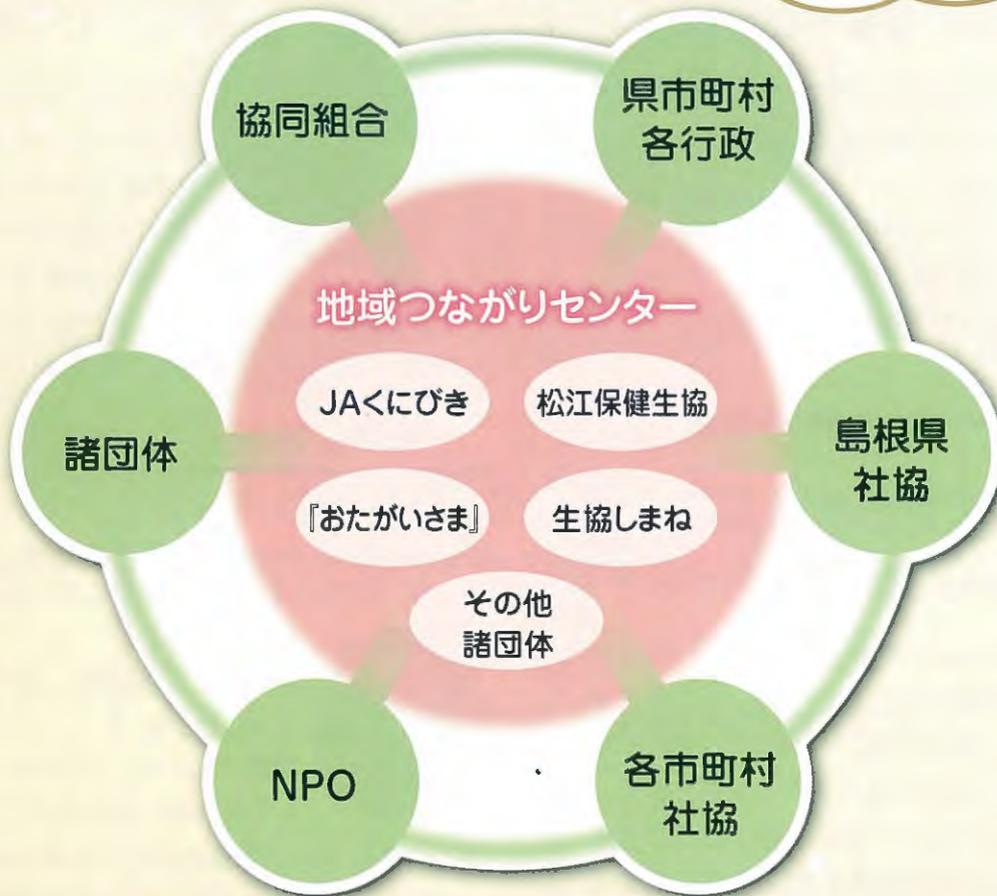


4

こんな姿をめざします



■地域つながりセンター設立準備会



■設立準備中の「おたがいさま浜田」



5 「地域つながりセンター」への応援メッセージ



日本地域福祉学会 会長
同志社大学大学院社会研究科

教授 上野谷 加代子さん

「地域つながりセンター」

なんて心温まる響きでしょう。命を生み出し、育み、支え合って、まっとうに生きぬくその働きができるのは地域です。

お互いにつながっていく実感を子どもたちに、そして私たちだれにも。



公益財団法人さわやか福祉財団

会長 堀田 力さん

「地域包括ケアのある町」
「コンパクトシティ」「絆」…

これは、3・11被災地の復興支援のなかで呼びかけている、これからのまちづくりの姿です。新しい地域支援のあり方も、「おたがいさま」と「ネットワーク」が基本です。生涯安心して暮らせる地域へ向け、おたがいさまを広げていきましょう！



大阪大学大学院 人間科学研究科

教授 斉藤 弥生さん

島根の「おたがいさま」は素晴らしい活動を展開し、県内全域に広がりつつあります。

100年以上も前、日本初の協同組合は島根で始まりました。「地域つながりセンター」は「自分たちの生活を自分たちで創るという文化」の発信基地ですね。



「おたがいさま高松」

代表 片山 仁子さん

私ども「おたがいさま高松」は、島根県のおたがいさまをお手本に発足いたしました。誇れる立派な先輩「おたがいさま」がいてくださることが、まだまだ心もとない私たちにとって本当に心強く大きな勇気と力を与えてくれています。島根のおたがいさまを目標に、これからもがんばっていく所存です。今後ともよろしくご指導お願いいたします。



特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター

理事長 池田 昌弘さん

「ちょっと手助けしてほしい」「その程度のことだったら私にもお手伝いできるのに」

日常の生活のなかで、そんな思いに出会うことは多々あるのに、案外「手伝って！」「いいですよ！」と一声かけ合うことができないものです。「おたがいさま」は、そうした両者の思いを上手につないで、ちょっとしたことを解決し合う仕組みです。年齢にも性別にも関係なく、組合員でなくても利用できる。こんな素晴らしい取り組みが全県に広がりつつある島根県は羨ましく、人の暖かさを感じます。

あるようでなかった「おたがいさま」のしくみ
— 地域で発明した少子超高齢社会における安全装置 —



佛敎大学

名誉教授 濱岡 政好さん
(江津市出身)

有償ボランティアの仕組みは、これまでも多様に展開されていますが、

多くの場合、何らかの制限があります。特に、福祉系の活動ではニーズや対象を主催者が限定する傾向があります。しかしフォーマルな福祉サービスや商業的サービスだけでは、すくい取れない細々とした生活ニーズへの対応こそが人びとが地域で安心して暮らし続けるために決定的に重要です。

不定形の、小さな生活ニーズに対して柔軟に対応できる「おたがいさま」という仕組みは、時代の求めに応える画期的な安全装置なのです。